



市赤坂区

木坂

田



郎

殿

惠心
辰

大正
年



日

上海河南路第二號

亞
洲
日
報
館

電話
(編輯室 四〇四〇番
營業部 四五二九番)

井子三

群心秋氣通牙

似賢之之之清

康可成乃後奉年遠

官事不亦灵頑健

却况也般之归就

之通言人戴尖

礼之之親友相是

之之生治也聆以友

清也之林之弟之多

之誦多開的也之

寸出都之之之

之之之映之之末

...は...甲...

寸出部...と存...

くるるなる映さずま

...の...日...園...

...と書...他を破

...の...後...な...

解りに...不

...入らぬ...
...
...

方おと中らした...回

...天...
...

うしく...
...

...
...

多...の...
...

...と...
...

おぼつかず申さしたるに

天竺の地をめぐり

うしくおぼつかず

おぼつかずと申す

多量に集められたる

境にありて状なる

りてあり

十月五日、井原より

八田三郎殿

付箋

おかげで、夏に参る

おぼつかず